



平成二十九年二月二十八日、今年卒業予定の生徒二三名の同窓会入会式が母校のご支援を得て開催されました。

幸地会長より

皆さん、お早うございます。

校長先生をはじめ、先生方には、卒業式を明日に控えたお忙しい中に、同窓会入会式を挙行していただきましてありがとうございます。改めまして、八十九回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。同時に、葉商会への入会おめでとうございます。

さて、入会にあたり二つのお願いがあります。一つは、この「将冠」に目を通していただきたいのです。同窓会について詳しく知る手段は、今のところこの「将冠」しかありません。

大切な卒業アルバムと共に、出来るだけ身近に置いていた

けるようにと願っています。

もう一つは、自分が何回生か、何年卒業かという事です。社会人になると出会いの連続です。当然、同窓の先輩や後輩に出会ってでしょう。そして親しみを込めて「何回生ですか?」と聞かれる事もあるでしょう。そんな時、カギになる数字があります。六十です。平成卒業からは、平成元年卒業が六十一回生ですから、六十一から一を引くと六十になります。

皆さんは、八十九回生なので六十を引くと二十九年卒業になります。ちなみに私は、昭和四十二年卒業の三十九回生です。第一回卒業が昭和三年なので三を三十九にプラスすると、四十二年卒業と言うわけです。キーワードの三と六十が頭の片隅にあると会話が弾むと思いますよ。まずは、クラスの仲間がまとまる事、連絡を取り合う事が大切です。一生に一度だけ回ってくる、同窓会総会の担当幹事をやり遂げる為にも、どうか佐世保商業高校の卒業生である事に誇りを持ち、凜とした立ち姿で一步を踏み出して下さい。これをもちまして、歓迎の言葉と致します。

……と、歓迎の言葉と、卒業生に記念品の贈呈があり、生徒を代表して、代表幹事の小林由暁よあきさんが挨拶をされました。その後、同窓会事務局より出席役員の紹介及び、同窓会の活動状況の説明を行いました。

閉式後は、入会式の恒例となった、幸地会長の「一曲入魂」タイムで締めくくりました。「継続は力なり」の挨拶の後、デビュー曲「佐世保ストーリー」を熱唱されました。

生徒さん達は笑顔で「サセボ!」のフレーズを歌って盛り上がり、和やかな入会式となりました。